

市の計画	国の法律・計画等	社会の動き等	世界の動き等	
<p>戦争引揚者等貧困者対策</p> <p>戦争浮浪児、孤児対策</p> <p>戦争による身体障害者対策</p> <p>貧困者全般を対象 生存権保障の明確化</p> <p>社会福祉事業の範囲 社会福祉法人、福祉事務所 など基盤制度を規定</p>	<p>1946 旧生活保護法</p> <p>1947 児童福祉法</p> <p>1949 身体障害者福祉法</p> <p>1950 生活保護法</p> <p>1950 精神衛生法</p> <p>1951 社会福祉事業法</p>	<p>敗戦後の復興期</p> <p>1947～1949 第1次ベビーブーム</p> <p>1952 サンフランシスコ講和条約</p> <p>1955～1957 神武景気</p>	<p>1950 朝鮮戦争</p>	1950年
	<p>1960 精神薄弱者福祉法</p> <p>1963 老人福祉法</p> <p>1964 母子及び寡婦福祉法 福祉六法体制の確立</p>	<p>1960～1961 岩戸景気</p> <p>1961 国民皆保険・皆年金</p> <p>1966～1970 いざなぎ景気</p>		1960年
<p>1971</p> <p>第一期長期計画</p> <p>社会福祉を含む行財政 改革を提言</p>	<p>1971 児童手当法</p> <p>1973 老人医療無料化 医療保険高額療養費制度 年金の物価スライド制 (いわゆる福祉元年)</p> <p>1978 第1次国民健康づくり対策</p>	<p>1970 高齢化率7%超</p> <p>1973 オイルショック</p> <p>成人病予防のための1次予防の推進 栄養・運動・休養の三要素推進</p> <p>1978 第2次オイルショック</p>	<p>1975 国際婦人年</p> <p>1979 国際児童年</p>	1970年
<p>1981</p> <p>第二期長期計画</p> <p>アクティブ80ヘルスプラン 運動習慣の普及</p> <p>社会福祉事業の見直し 供給主体のあり方 在宅福祉の充実と施設 福祉との連携強化 市町村の役割重視</p>	<p>1980 第二臨調設置</p> <p>1982 老人保健法 (老人医療自己負担導入) (現役世代の拠出金と公費で負担)</p> <p>1986 基礎年金制度の導入</p> <p>1987 社会福祉士及び介護福祉士法</p> <p>1988 第2次国民健康づくり対策</p> <p>1989 福祉関係三審議会意見具申</p> <p>1989～1999 ゴールドプラン</p> <p>1990 福祉八法改正</p>	<p>1979 高齢化率14%超</p> <p>1991 パブル景気</p> <p>在宅福祉サービスの積極的推進 福祉サービスを市町村に一元化</p>	<p>1981 国際障害者年</p> <p>1983～1992 国連障害者の10年</p>	1980年
<p>1992 1992</p> <p>1993</p> <p>第三期長期計画</p> <p>地域福祉計画</p> <p>高齢者保健福祉計画</p> <p>1998 障害者計画</p>	<p>1995 精神保健福祉法</p> <p>1994～1999 新ゴールドプラン</p> <p>1994～1999 エンゼルプラン</p> <p>1996～ 社会保障構造改革</p> <p>1996～2002 障害者プラン</p> <p>1997 介護保険法</p>	<p>1991 パブル崩壊</p> <p>1994 高齢化率14%超</p> <p>1995 阪神淡路大震災</p> <p>平成11年(1999)に見直し</p> <p>1998 山一証券、拓銀経営破たん</p>	<p>1990 統一ドイツ誕生</p> <p>1993～2002 湾岸戦争、ソ連邦消滅 アジア太平洋障害者の10年</p> <p>1995 ドイツ介護保険制度実施</p> <p>1999 国際高齢者年</p>	1990年